令和6年度

事業報告書

3 主務官庁の許可・認可又は承認の状況

年 月 日	許可等の事項
令和6年6月27日	京都府知事へ令和5年度事業報告書及び収支決算について提出
令和7年3月31日	京都府知事へ令和7年度事業計画書及び収支予算について提出

4 新型コロナウイルス感染防止の取組

過去の経験を踏まえ、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に留意し、発掘調査事業ならびに普及啓発事業を進めた。

5 事業

(1) 発掘調査受託事業

令和6年度は、22件の事業を受託しており、契約額は1,340,080,193円である。内訳は、別添資料1のとおりである。

区 分	当初予定 (A)	契約実績 (B)	差異 (B) - (A)
受託事業費	1,305,000,000円	1,340,080,193円	35,080,193円 (増)
契約件数	22件	22件	0件
発掘調査 (北部)	3件	3件	0件
発掘調査 (中部)	6件	6件	0件
発掘調査 (南部)	3件	3件	0件
発掘調査 (市町支援)	2件	3件	1件 (増)
整理報告	6件	5件	1件 (減)
普及啓発	1件	1件	0件
出土品整理	1件	1件	0件

現地説明会や現地見学会などの実施状況は、次表のとおりである。

開催日	遺跡名	備考
令和6年6月1日 (土)	法貴古墳群 (亀岡市)	現地説明会 参加者 161名
令和6年6月4日 (火)		曾我部小学校6年生見学会 児童 19名、教員 4名
令和6年8月3日 (土)	稚児野遺跡 (福知山市)	現地説明会 参加者 62名
令和6年9月7日 (土)	幾坂40号墳 (京丹後市)	成果報告会 参加者 83名
	老田遺跡 (京丹後市)	現地説明会 参加者 50名
令和6年9月17日 (火)	松田古墳群 (京丹後市)	京都府立大学考古学研究室現地見学
開催日	遺跡名	備考
令和6年10月12日 (土)	千代川遺跡 (亀岡市)	京都橘大学文学部歴史遺産学科 現地見学・校外授業

令和6年11月10日(日)	松田古墳群(京丹後市)	現地説明会 参加者91名
令和6年11月16日(土)	小中田遺跡(京丹後市)	現地説明会 参加者39名
令和6年11月17日(日)	亀岡市曾我部町自治会	文化祭遺物・パネル展示
令和6年11月23日 (土・祝)	墓の平古墳群(井手町)	関係者説明会 参加者20名
令和6年12月1日(日)	京丹後市大宮町河辺地区	文化祭遺物・パネル展示 見学者50名
令和6年12月1日(日)	千代川遺跡(亀岡市)	現地説明会 参加者93名
令和6年12月7日(土)	女布遺跡(舞鶴市)	現地説明会 参加者120名
令和7年2月22日(土)	長岡京跡 井ノ内遺跡(長岡京市)	現地説明会 参加者160名
令和7年3月2日(日)	千代川遺跡(亀岡市)	現地説明会 参加者97名

調査を実施した事業のなかで、特に、顕著な調査成果が得られたものは、次表のとおりである。

番号	遺跡名	所在地	主要調査成果等
3	千代川遺跡	亀岡市千代川町	第37次調査A地区において、古墳時代の自然流路から木樋・建築部材の集積遺構などを確認した。木樋は、木樋本体と土台となる木材により構成されており、その下流15mの地点において同様な木樋が出土した。古墳時代前期から中期に比定され、浄水祭祀を行うための導水施設と考えられる。第37次調査P1地区において、弥生時代中期の溝や土坑を検出するとともに、古墳時代後期の竪穴建物や掘立柱建物を検出した。
7	法貴古墳群	亀岡市曾我部町	法貴古墳群は67基からなる群集墳であり、13基の横穴式石室墳を調査。24号墳は長辺約10m、短辺約7mの二段築成の方墳で、飛鳥時代中頃(7世紀中頃)の築造である。34号墳の横穴式石室から全長74cmの靱尻金具を有する鉄刀が出土。

番号	遺跡名	所在地	主要調査成果等
8	小中田遺跡	京丹後市大宮町	谷部の位置する集落遺跡であり、飛鳥時代の竪穴

			建物や流路を検出した。流路の最高所において湧水が認められ、流路内から多数の桃種子が出土することから水辺祭祀に使用された遺構と考えられる。
	松田古墳群		弥生時代後期の台状墓7基と古墳時代前期の方墳4基を検出。階段状の台状墓では、複数の埋葬施設を検出。古墳時代の方墳は1墳丘1埋葬施設。埋葬施設は総数59基を検出した。
9	稚児野遺跡	福知山市夜久野町	今年度の最終年度調査において379点の旧石器を検出するとともに、蒸し焼きなどの調理に利用した可能性がある礫群を検出した。今までの調査で1,400点以上の石器が出土した。
10	墓の平古墳群	綴喜郡井手町	古墳時代後期の横穴式石室墳を再成形し、戦国時代から江戸時代にかけて石塔や石仏が並べられる。また、その周辺の平坦地には蔵骨器や火葬人骨が出土する数多くの墓壙を検出した。
13	長岡京跡 井ノ内遺跡	長岡京市井ノ内	古墳時代後期の竪穴建物6基や土坑を検出した。また、長岡京の二条大路南側溝や西四坊間小路西側溝を検出した。
15	女布遺跡	舞鶴市女布	平安時代末から鎌倉時代(11世紀末から13世紀)の数多くの柱穴を検出するとともに、平安時代の山吹双鳥文鏡が包含層から出土した。鏡の上端2か所に懸垂用の穿孔がある。

調査報告書については、各300部印刷し、以下のとおり刊行した。内容は、別添資料2のとおりである。

『京都府遺跡調査報告集 第196冊』 令和7年3月21日

『京都府遺跡調査報告集 第197冊』 令和7年3月31日

(2) 普及啓発事業

京都府教育委員会の委託事業として「埋蔵文化財セミナー」「成果展」「京都の歴史体験講座」「夏休み考古学体験講座」「出土文化財再整理事業」「埋蔵文化財リーフレット刊行」を実施した。一方、当調査研究センターの独自事業として機関誌『京都府埋蔵文化財情報』の刊行や例年実施している出前講座・体験授業等などを実施した。

全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロック「関西考古学の日2024」関連事業として「秋の考古学講座」を2講座実施した。埋蔵文化財セミナーのように多数の参加者を対象とするのではなく、20名程度の参加者を対象に講座を実施しており、考古学を身近に感じていただける機会でもある。

なお、職員の資質向上を目途に実施している共同研究事業は、共同研究と個人研究、研究会派遣において募集し、研究を進めるうえで必要な資料調査

を実施した。

最後に、当調査研究センターでは、学術研究や埋蔵文化財保護の啓発事業として「資料調査」の受入れや「資料貸出」「画像掲載依頼」に伴う画像提供を随時行っている（別添資料4・5・6）。

(ア) 埋蔵文化財セミナー（京都府教育委員会委託事業）

埋蔵文化財セミナーは、発掘調査成果の発表を通じて京都府の歴史の解明と文化財の保護に寄与するために今年度は3回（参加者合計 222 名）開催した。内容については、次表のとおりである。

回数	開催日	実施内容	会場
155	令和6年8月4日（日）	『京都府内の発掘成果速報』 ・福知山市川上南古墳群の発掘調査 福知山市地域振興部文化・スポーツ振興課 鷲田紀子氏 ・城陽市芝山古墳群の発掘調査 当調査研究センター 小泉 裕司 ・京丹後市カンジョガキ遺跡の発掘調査 当調査研究センター 松谷 友香 ・宮津市史跡丹後国分寺跡の発掘調査 京都府教育庁指導部文化財保護課 桐井 理揮	永守重信 市民会館 （参加者 71 名）
156	令和6年11月30日（土）	『京都府内の旧石器・縄文時代の様相』 ・京都府北部の旧石器時代 当調査研究センター 面 将道 ・舞鶴の縄文時代 舞鶴市市民生涯学習部文化振興課 松本 達也氏 ・京都府日本海側の縄文遺跡 ～京丹後市平遺跡をめぐる～ 当調査研究センター 菅 博絵 ・最新の縄文時代像と京都府の縄文遺跡 同志社大学文学部教授 水ノ江和同氏	舞鶴赤れんが パーク （参加者 72 名）
157	令和7年2月22日（土）	『京都府内の弥生時代の様相』 ・京都市中久世遺跡の調査 京都市埋蔵文化財研究所 渡邊 都季哉氏 ・京丹後市松田古墳（墳墓）群の調査 当調査研究センター 名村 威彦 ・最新の弥生時代像と京都府の弥生時代遺跡 立命館大学文学部教授 長友 朋子氏	京都 J A ビル （参加者 79 名）

(イ) 成果展（京都府教育委員会委託事業）

巡回展「発掘された京都の歴史 2024」と題して、当調査研究センター及び府内の各調査機関が実施した令和5年度の発掘調査速報展と企画

展「亀岡を掘る」を実施した。

会 場：向日市文化資料館

会 期：令和6年8月3日（土）～8月25日（日）観覧者1,459名

会 場：京都府立山城郷土資料館

会 期：令和6年9月4日（水）～9月16日（月・祝）観覧者204名

会 場：亀岡市文化資料館

会 期：令和6年9月28日（土）～10月27日（日）観覧者730名

総 計 2,393名

展示解説「発掘された京都の歴史2024」の見どころ

会 場：京都府立山城郷土資料館

開催日：令和6年9月7日（土）参加者24名

講 師：筒井補佐

展示解説「発掘された京都の歴史2024」の見どころ

会 場：亀岡市文化資料館

開催日：令和6年10月5日（土）参加者15名

講 師：肥後補佐

（ウ） 機関誌

当調査研究センターの発掘調査状況の速報や埋蔵文化財の調査、研究及び保護に資するために『京都府埋蔵文化財情報』を年2回刊行した。内容は、別添資料2のとおり。

第147号	9月刊行	1,500部
第148号	3月刊行	1,500部

（エ） 埋蔵文化財リーフレット（京都府教育委員会委託事業）

『もっと知りたい京都の遺跡』と題して、府内の発掘調査の成果を発信するリーフレットを年2回発行した。

・第15号「波佐見焼 ーくらわんかー」 2月発行

・第16号「いのり まじない のろいの考古学」 3月発行

【A3版、二つ折り、カラー刷り、各5,000部】

（オ） 京都の歴史体験講座（京都府教育委員会委託事業）

京都府立京都学・歴彩館でパネル展とミニ講座、京都府庁2号館1階ロビーでミニ企画展を実施した。また、当調査研究センターにおいて夏休み考古学体験講座として「勾玉をつくろう！」を実施した。

○夏休み考古学体験講座

「勾玉をつくろう！」

開催日：第1回 令和6年8月7日（水）午前10時～ 参加者19名

- 第2回 令和6年8月7日(水) 午後2時～ 参加者 10名
- 第3回 令和6年8月8日(木) 午前10時～ 参加者 20名
- 第4回 令和6年8月8日(木) 午後2時～ 参加者 15名
- 第5回 令和6年8月9日(金) 午前10時～ 参加者 15名
- 第6回 令和6年8月9日(金) 午後2時～ 参加者 10名

会 場：当調査研究センター研修室
 対 象：乙訓管内の小学5・6年生
 参加数：計 89名

- 企画展示「発掘された京都の歴史 2024」 パネル展示
 会 場：京都府立京都学・歴彩館京都学ラウンジ
 期 間：令和6年10月1日(火)～10月31日(木) 見学者 603名

- 歴彩館ミニ講座「横穴式石室考」
 会 場：京都府立京都学・歴彩館 講師：小池課長
 開催日：令和6年10月3日(木)

- 京都府庁2号館ロビー展示
 展示名：「亀岡の古墳時代」
 期 間：令和6年12月17日(火)～12月26日(木)

(カ) 地域・機関連携 出前講座・体験授業等

京都府教育委員会、府立図書館、市町村、府内小・中学校並びに調査地が所在する地元自治会や事業所と連携して、出前講座や出張展示、講演会講師の派遣などを通して積極的な文化財保護の啓発を行った。

- 京都府立図書館・当調査研究センター連携展示
 「藤原道長と法成寺 一みやびとうつわー」
 会 場 京都府立図書館 2階ナレッジベース
 期 間 令和7年2月7日(金)～3月12日(水) 入室者 1,026名

- 京都府立図書館・当調査研究センター連携展示に伴う講演会
 「藤原道長と法成寺 一みやびとうつわー」 参加者 58名
 開催日 令和7年2月15日(土)
 会 場 京都府立図書館3階マルチメディアインテグレーション室
 講 師 松井調査員

- 長岡京市立長法寺小学校「勾玉教室」
 開催日：令和6年8月1日(木) 参加者 15名

- 向日市立勝山中学校職場体験活動受入
 開催日：令和6年8月28日(水)～30日(金) 参加者 4名

- 向日市立第3向陽小学校「勾玉教室」
 開催日：令和6年9月20日(金) 参加者 46名

- 国土交通省近畿地方整備局福知山河川国道事務所インターンシップ
現地説明（於：京丹後市松田古墳群）
開催日：令和6年9月26日（木）
- 亀岡市文化資料館企画展講演会「亀岡市里遺跡の謎に迫る」
開催日：令和6年10月12日（土）
講師：小池課長
- 京都を学ぶセミナー丹後編「丹後の弥生王墓と遠隔地地域間交流」
開催日：令和6年10月23日（水）
会場：京都府立京都学・歴彩館
講師：高野参事
- 歴史講演会「古墳出現期の山城南部の地域勢力と東海」
開催日：令和6年11月23日（土・祝）
会場：名古屋市しだみ古墳群ミュージアム
講師：高野参事
- 文化財講演会「京都市法成寺を掘る」
開催日：令和6年12月7日（土）
会場：京都府立山城郷土資料館
講師：松井調査員
- 京丹波町民大学歴史講座「丹波の山城について」
開催日：令和6年12月15日（日）
会場：京丹波町役場
講師：引原副主査

(キ) 「関西考古学の日 2024」 関連事業

全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロックの加盟11法人が各種イベントを開催する「関西考古学の日 2024」関連事業として、当調査研究センター（研修室）において京都の考古学や歴史を対象とする『秋の考古学講座』を開講した。

- 秋の考古学講座
 - 第1講座「方格規矩鏡に表された世界観」
開催日：令和6年10月19日（土）
会 場：当調査研究センター研修室 参加者 21名
講 師：菅主任
 - 第2講座「拝田14号墳の調査成果から考えた亀岡の古墳時代」
開催日：令和6年11月16日（土）
会 場：当調査研究センター研修室 参加者 20名
講 師：山本主任

- (ク) **兵庫県立考古博物館 第31回大中まつり古代体験フェスティバル** 出展
 兵庫県立考古博物館・大中まつり古代体験フェスティバルにおいて考古学が体験できるブースを出展する予定であったが、荒天のため開催中止となった。

(ケ) **共同研究**

当調査研究センターにとって必要な調査研究を職員が共同ないし単独で行い、研究テーマに即した資料調査を実施する。その研究成果を『京都府埋蔵文化財情報』に公表して、京都府における埋蔵文化財の保存と活用に資する。また、発掘調査報告書作成にあたり資料調査を実施した。

申請者	共同研究者など	テーマ	備考
面 将道	資料調査	佐屋利遺跡（京丹後市）報告書作成資料調査	単年度
加藤 雄太	個人研究	四国で出土した京都の土人形と在地土人形の影響関係について	単年度
竹村 亮仁	個人研究	横穴式石室の構築過程について	単年度
加藤 雅士	個人研究	文化財展示における誘因・満足度向上施策の研究 ～特に若年層を中心に～	単年度
新美 祥人夢	高野 陽子	水辺の祭祀にまつわる出土遺物の考古学的研究	～令和8年度
菅 博絵 高野 陽子	大宮峰山関係遺跡（京丹後市）の発掘調査に従事する職員ほか	北近畿における弥生・古墳時代の地域社会の復元研究	～令和8年度
北山 大熙	個人研究	由良川中流域における埴輪生産の展開	～令和7年度

(コ) **出土文化財再整理事業（京都府教育委員会委託事業）**

平安京跡左京一条三坊三町（文化庁庁舎建設）、美濃山遺跡第5～9次調査で出土した309箱の出土品再整理を行い、公開・活用が可能な状態にした。

(サ) **SNSによる広報の取り組み**

センターの発掘調査に関する情報や普及啓発活動の取り組み状況について、「Facebook」「X」による広報を行っている。令和6年度に実施した発掘調査の現地説明会では、開催案内や実施結果報告を「X」に投稿し、インプレッション数（閲覧数）が亀岡市法貴古墳群で約2,900回、亀岡市千代川遺跡で約2,700回、京丹後市松田古墳群で約3,750回を確認した。なお、今年度は、埋蔵文化財セミナー、「発掘された京都の歴史2024」展などの開催にあたって開催案内や開催結果情報を発信した。

(シ) **資料調査受入、資料貸出・写真提供事業**

当調査研究センターでは、研究者や大学生の論文作成などの学術研究や博物館展示などの啓発事業に係る「資料調査」を受け入れた。また、

「資料貸出」や「写真掲載依頼」に伴う写真提供を行った。

(ス) 当調査研究センター設立 45 周年記念関連事業

京都府埋蔵文化財論集第 9 集に約 50 名の執筆意向をいただいた。また、令和 7 年度に旧石器時代から古墳時代の「古代の暮らし」をテーマとして開催する記念展覧会の準備を行うとともに、それに関連する記念講演会を計画している。

6 その他

(1) 専門研修

文化庁主催の埋蔵文化財担当職員講習会をはじめ全国埋蔵文化財法人連絡協議会研修会や同協議会近畿ブロックが主催する研修会、関係各機関実施の埋蔵文化財研究会等に参加し、職員の資質向上に取り組んだ。一方、総務課職員を対象に公益財団法人公益法人協会主催の会計セミナー等に参加した。主な研修は、以下のとおりである。

日付	研修会名	受講者
5月8日	法人セミナー（公益法人制度改革等）	常田次長、鍋田補佐
6月11日	人事労務セミナー	松浦主事
9月18日 ～20日	埋蔵文化財担当職員等講習会	辻調査員
10月10日	全国埋蔵文化財法人連絡協議会研修会	葛本・山本主任
12月11日	公益法人制度改革と公益法人会計基準改正セミナー	鍋田補佐、葛本主任
1月21日	報告書データベース作成に関する説明会（オンライン）	肥後補佐
2月3日	全国埋蔵文化財法人連絡協議会デジタル技術等活用推進委員会研修会	筒井補佐、武本主任
2月18日	公益法人協会会計決算セミナー	常田次長
3月10日	UAVレーザー測量職員研修会	職員有志

(2) 一般研修

人権研修等推進委員会が中心となって行う以下の職場研修のほか、京都府教育庁主催の行政研修及び人権問題研修、労基局・ハローワーク等主催の人権研修並びに（公財）世界人権問題研究センターが開催する人権大学講座にも積極的に参加した。

また、組織経営のマネジメント研修などにも参加するとともに、足場組立等特別講習等を受講した。

○マネジメント研修

テーマ：「リカレント研修 経営マネジメント力養成コース」

開催日：令和 6 年 6 月 20 日（木）他

会 場：京都経済センター他
参加者：筒井補佐

テーマ：「職場を活性化するリーダー実践研修」
開催日：令和6年7月18日（木）
会 場：京都商工会議所
参加者 高野参事

○職員人権研修
講 師：富永 吉喜理事
テーマ：「共に生む（4）」
開催日：令和6年11月15日（金）
会 場：永守重信市民会館会議室

（3） 遺跡検討会

例年、大きな調査成果をあげ、報告書刊行に向けて整理作業が進む遺跡について、職員や理事、関係機関の協力を得て、遺構・遺物の検討を行い報告書に反映しているが、今年度は、該当がなかった。

（4） 講師派遣

京都府立大学からの講師派遣依頼により、土曜日に職員を交代で派遣し、集中講義「地域考古学Ⅰ・Ⅱ」を行っている。また、同志社大学、佛教大学・京都橘大学においても講師派遣依頼により職員を派遣した。